

# 白川郷の合掌造り



## 第21号

平成31年3月31日

発行 (一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団  
岐阜県大野郡白川村荻町  
2495番地の3



茅刈りイベントの参加

白川郷を知りましたのは十年前の四月、家族旅行のきっかけで、「生きている世界遺産」と「文化的景観」というところに興味を持ちまして、特に環境において人の作用を注目し、筑波大学大学院の世界遺産専攻に進学し、現在に至っています。研究のフィールドは日本ではありませんが、白川郷へ演習の参加やゼミの現地調査のため数回は来ていました。村に移住した

きっかけは役場に就職の関係で、平成二十九年の十月から茨城県つくば市から白川村に引っ越ししました。「仕事のやりがい」ということは、新しいスキルや知識を身につけるだけではなく、やはり達成感や貢献度も重要だと思えます。長年で身に付けた学業や知識を確実に仕事に役立てたい、また、大都会生活の疲労さが頭に残り、自分の時間と家族との時間を大切にしたい、思い切った白川村に住むことを決めました。

## 世界遺産から何をもらえるのか？ 何を貢献できるのか？

白川村役場観光振興課 章 璐 (ショウ ル)

前述が私の移住バックグラウンドですが、「世界遺産があるから移住に来た」というものはありません。実は、私にとって「世界遺産」はとても身近なものです。大学院は世界遺産専攻のため、勉強した内容が世界遺産であり、私の出身地である遼寧省瀋陽市および北京時代を過ごした北京市はそれぞれ世界文化遺産があります。ただし、瀋陽市と北京市は合計七箇所の世界遺産を有しますが、世界遺産の登録や登録された後の保存・保全活動には市民の参

与はほぼゼロと言えます。中国の東北地方も少子高齢化、且つ若い人の流失という課題も深刻です。「一人っ子政策」が人口抑制の効果が果たしているが、家族に甘やかされて育ってきたため、何より子供の発展を家庭で最優先にし、子供の個人意識を強調し、「郷土愛」によるふるさとの羈絆が徐々に薄くなっています。こういう背景において、「世界遺産」は「故郷の誇り」の中に、重要度をどのくらい占めているのかということが私からの疑問です。例えば瀋陽市にある世界遺産の場合は、北京の故宮(紫禁城)および明・清王朝の皇帝墓群と共に世界文化遺産として登録されました。一七世紀の宮殿と陵墓ですの



ライトアップ前日レクチャー

で、社会教育で小学校や中学校は見学に行きますが、なぜ世界遺産として登録されるのか、どのような影響を受けているのか、現在のよ

うな保護しているのか、将来の展望や世界遺産に応援することなどの教育はまだ不十分だという現状です。

いるのか、どのような影響を受けているのか、現在のよ

うな保護しているのか、将来の展望や世界遺産に応援することなどの教育はまだ不十分だという現状です。

題目に戻りますが、私たちは世界遺産から文化の「伝承」と「啓発」を賜っています。赤い壁と黄色の屋根、故宮(紫禁城)は、代々に渡り中国人に審美感を養っています。また、故宮は中国「天人合一」思想の建築の代表として、現代にも建築や生活に影響を与えています。世界文化

遺産は、すべて有形のものであり、つまり有形の不動産が対象になるわけなので、保護の重点も「不動産」に偏る事が多いでしょう。しかし、伝統文化の継承と発展は、形あるものだけを対象にすることはできません。世界遺産の「真实性」は、「language, and other forms of intangible heritage (言語その他の無形遺産)」、「spirit and feeling



ライトアップ通訳案内の留学生達

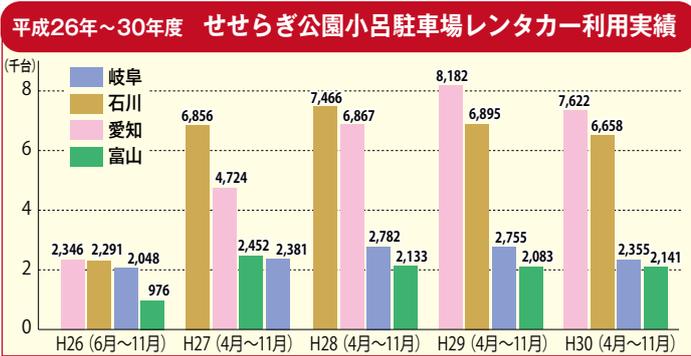
発」は、世界遺産からの宝物でありながら、私たちのミッションにもあるではないでしょうか。私としては、現在村に移住したことから、新しい環境を理解する上で、住み続けるために前向きな思いや行動で「エンジン」をかけています。所属は観光振興課のため、仕事内容が世界遺産を含

(精神、感性)」、「other internal and external factors (その他の内部要素、外部要素)」にも含まれています。「格物致知」という姿勢で、本質を追求し、特に文化的景観において、有形物の背後に、この「形」を支えてきた人間と文化や人間と自然などの相互依存的な関係も大切にしなければならぬと考えています。こういう意味で、文化の「伝承」と「啓

む村全般の観光振興や、ふるさと納税、村の上位計画の策定などです。その他、ライトアップ期間の通訳案内や駐車場交通整理、祭り期間中の臨時観光案内の手伝いを行います。今後の課題として、グローバルの視野を活かして、如何に世界遺産の伝承と啓発のバランスをよく取れることです。世界遺産保全に関する知識を常に吸収し、日々の努力の積み重ねていきたいと思っています。



村第二次総合戦略策定専門部会



平成30年度のせせらぎ公園駐車場の普通車及び大型車の利用台数は、大型車が2月末には供用開始以来最高となった昨年をさらに上回り25,061台と2,000台も増加しています。普通車は反対に3,000台余り減少しており、急激な増加が始まった平成27年度に近い133,737台となりました。原因は4月~9月までの天候不順やお盆休みなどの分散化が考えられ、10月以降には増加傾向に転じています。また、外



国人観光客が利用の大半を占めるレンタカーの比率は月平均26%と、利用台数とは比例せず以前増加傾向があります。

普通車は減少!!  
天候不順が影響か



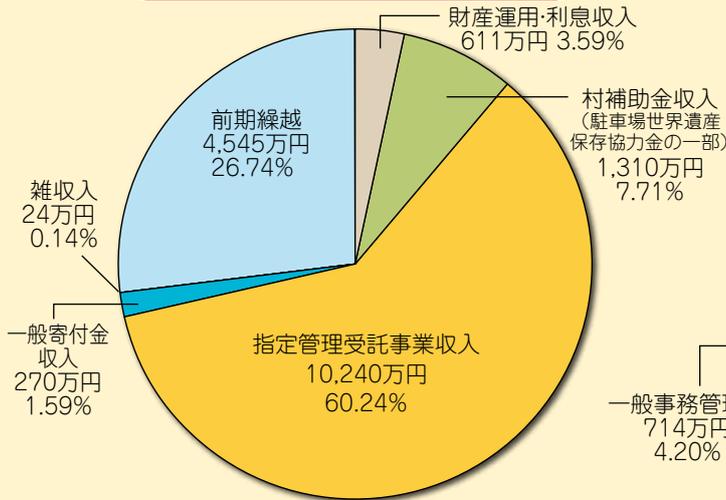
…一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団…

平成30年度

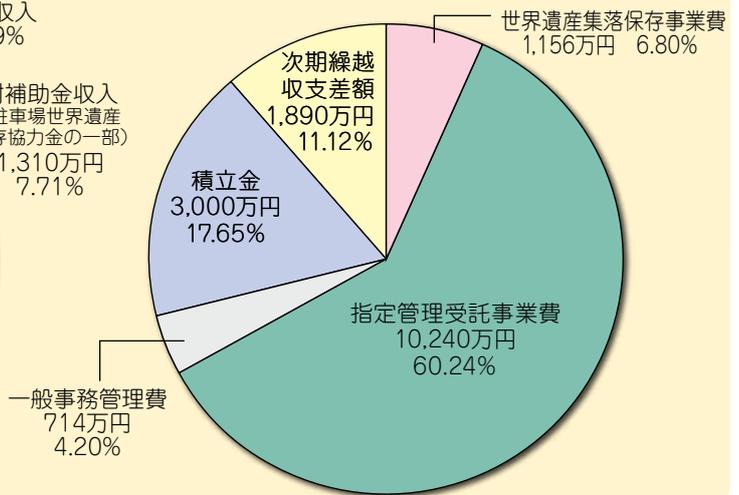
# 会計のあらまし

財団が、どのような収入を得て、どのように支出しているのか、平成30年度の会計状況をお伝えします。

**歳入 1億7,000万円**



**歳出 1億7,000万円**



## 平成30年度の主な事業

<b>1. 修理事業</b>	<b>5,053,000円</b>
差し茅	18棟 785,000円
伝統的建造物修理	1棟 650,000円
棟茅葺替	87/108棟 3,618,000円
トタン屋根葺替	0円
<b>2. 修景事業</b>	<b>1,144,760円</b>
修景協力費助成	4棟 781,000円
トタン屋根葺替	0円
ビニールシート指定色奨励事業	28枚 131,740円
一般建築物茅屋根補修	棟茅5棟・差茅2棟 198,000円
オダレ助成	5枚 34,020円
<b>3. 地域活性化事業</b>	<b>2,370,163円</b>
自治保存会活動費助成	1,000,000円
自治保存会育成事業	785,920円
人材育成事業	384,243円
茅の自給率向上施策と調査研究	200,000円
<b>4. 水田復旧事業</b>	<b>2,991,889円</b>
復旧農地の維持管理・活用	水田63.10a、畑0.7a 2,991,889円
<b>合計</b>	<b>11,559,812円</b>

## 財源内訳

村補助金	11,500,000円
基金運用利息	59,812円
<b>合計</b>	<b>11,559,812円</b>

財団は世界遺産集落を保全し、後世に残していくための公益事業を行っており、主な経費は村営駐車場の受託費で賄われています。設立当初よりせせらぎ公園駐車場と付随する総合案内所の管理運営業務を行い、現在は寺尾・弥陀島臨時駐車場を含め繁盛期の渋滞緩和にも努めています。

駐車場で徴収された駐車料金は村に収納され、駐車場や施設の維持管理費に当てられ、一部は管理受託費として財団の歳入となります。また、世界遺産地区の修理・修景助成、地域振興策等にも使われ、事業計画に応じ村から補助金として入ります。

平成30年度のせせらぎ・寺尾・弥陀島駐車場の総収入は、23,445万円(前年比856万円増)となりました。受託事業費として10,240万円、集落整備事業及び運営費補助金として1,310万円を村からの収入とし事業を行いました。

基金は約7億330万円、平成30年度は611万円の財産運用利息収入となり、財団の貴重な財源として集落保存事業を中心に活用されています。

## 財団が保持している基金の現在額(平成31年3月)

基本財産	302,361,000円
特定資産	400,943,373円
<b>合計</b>	<b>703,304,373円</b>

平成30年度 | 自治保存会育成事業

# 兵庫県篠山市・ 京都府美山町・ 福井県小浜市

## 視 察 研 修

平成三十年度の自治保存会育成事業は、七月十二日～十三日の日程で兵庫県篠山市・京都府美山町・福井県小浜市へ視察研修に行つて来ました。参加者は事務局を含め十七名。篠山市では昨年に引き続き、近い将来萩町でも深刻な問題となるであろう空き家問題について、翌日は、自治保存会育成事業が始まってから二度目の視察となる美山町と、小浜市の歴史的景観を視察しました。

研修の報告は、守る会（和田会長）で取りまとめていただいた参加者の感想を掲載させていただきます。

### 丹波篠山・NOTE

●NOTEと地域NPOとの関係性がよく、信頼関係の中でそれぞれの役割を担い、住民に無理を強いず運営している雰囲気伝わってきた。

●古民家の宿泊を稼働率三〇％で価格設定した初期投資、あえて高価格でレベルの高いお客様を勧誘、といった考え方がすごい。

●「稼働率のコントロール」という発想は衝撃的だった。忙しすぎると心が追いつかなかったり疲弊したりする。ゆとりは大事。

●丸山集落は故郷に帰ったような自然の中の暮らしを提供。外国人観光客にとって日本の歴史ある古民家としても興味深い。

●その地域でしか過ごすことのできない「時間」を提供するという視点は、これからの白川の観光に欠かすことの出来ない考え方は。

●空き家問題に向け早い段階から課題解決に向けた取り組みを。「売らない・貸さない・壊さない」について萩町住民が真剣に話し合い、共通理解のもとに取り組むことが必要。行政と連携した取り組みを。

▲「一般社団法人NOTE」の取り組みについて勉強会



▲篠山市美山町合掌造りと紫陽花



▲自動放水銃





▲集落丸山にて記念撮影



▲集落丸山にて 古民家見学

●小規模な丸山集落だけど、まとまりはすごい。荻町も学ぶべきところは活かしたい。荻町には先人よりつないできた結の精神がある。次代へつなぐ未来を育む里づくりが大事。力を合わせ頑張ろう。

美山かやぶきの里

●日本昔話に出てきそうな素敵な集落。小さな集落到住居と観光がバランス良く配されていると感じた。地場のお土産があり、四季を通してお客様がお出でくださることに感謝し、美山の良さをもっと知ってもらいたいという住民の想い。私たちもそれを忘れないで、景観の保全に努め、おもてなしと感謝を忘れずお客様に接したい。

●高齢化に対して次の世代へとつなぐ努力をしている。屋根葺きを通して若い人材が移り住んでいる。バイタリティーあふれる美山茅葺株式会社中野社長の長年の理念が実現していることに感動。

●同じ茅葺き屋根でも、構造や材質、活用法、屋根葺きのやり方等合掌と同じ部分と異なる部分分かり面白かった。

●美山の職人さんから茅葺きのよさを聞き、合掌に住みたいと感じた。



▲美山茅葺株式会社中野社長よりお話を



▲美山かやぶきの里を視察

小浜西組伝建地区

●郷土愛にあふれたガイドさんの説明に感激。説明が有ると無いとでは、見学の印象が全く違う。荻町でも更なるガイド養成が世界遺産の観光地としてのレベルアップや職の拡大につながると感じた。

★研修企画を財団に感謝。多くの住民に報告し広めたい。

★研修に参加し、行って終了！ではなく、研修報告会などを行うべき。研修に参加し、一つでも白川村で新しいチャレンジが出来るように継続的な動きになると良い。



▲小浜西組伝建地区を視察

# 荻町集落の景観保全

～水田復旧事業～

## 田植え体験



5月24日、白川郷学園5年生と本巣郡北方南小学校5年生の交流学習があり、休耕田にて田植え体験を行いました。9月には職員と白川郷学園5年生で稲刈りをして、収穫したお米を北方南小学校5年生に送りました。白川郷学園5年生にもお米をプレゼントしました。



## さつまいも畑



10月5日、白川郷学園2年生と一緒にさつまいも掘りを行いました。6月には苗植えも行っています。この畑は集落内の景観保全を目的に休耕田を利用して作っています。児童は職員から景観を守る大切さを学んだあと、一斉にさつまいも掘りを行いました。

11月には2年生の「ありがとうの会」に招待していただき、収穫したさつまいもを使って作った蒸しパンを美味しくいただきました。お礼のメッセージと、2年生がさつまいものツルで作ったリースをいただきました。とっても上手に出来ていて、財団の事務所に飾ってあります。



## 水田協力隊



今年も財団の田植えや稲刈りを手伝ってくれた皆さんありがとうございました。

財団が所有する休耕田は機械が入らない所が多くとても大変ですが、職員と一緒に頑張ってくれた皆さんのおかげでとても助かりました。これからも水田協力隊としてお手伝いをよろしくをお願いします。



田植え、稲刈りをお手伝いしたい!!方、大募集! ぜひ一緒にやりましょう!

昔ながらの景色を子供たちに残せるよう、  
今後も景観保全に取り組んでいきます!

# 人材育成事業



## 田づくり



財団では人材育成事業の一つとして、白川郷学園の田づくりに関わる肥料や苗の他、畑づくりやプランター栽培に必要な種や苗などの助成を行っています。

今年度の5年生の田づくりでは、田植え・稲刈り・脱穀の指導をしながら子供達と一緒に作業を行いました。11月には5年生の親子行事に招待していただき、収穫したお米で餅つきをして美味しく頂きました。



**今後も次世代の遺産保存のための人づくりにつながるよう、積極的に教育活動を行います！**

財団では世界遺産の景観保全を目的に休耕田の復旧や維持管理を行っています。



# ありがとうございます

## 募金ご協力者一覧

(敬称略)

### 平成30年度

- 神奈川県 古谷 義幸
- 静岡県 石原 正美
- 愛知県 大森 國雄
- 愛知県 KDDI株式会社 中部総支社
- 岐阜県 可児 洋明
- 岐阜県 橋本 健
- 岐阜県 (株)三輪酒造 三輪 研二
- 岐阜県 (有)高山観光写真サービス
- 岐阜県 日本たばこ産業株式会社 岐阜支店
- 滋賀県 (株)文教スタジオ代表取締役 一円 泰成
- 三重県 小田 信雄
- 和歌山県 石田 真紀

### 竹筒募金

- 国重文 和田家
- ふる郷 長瀬家
- 神田家
- 明善寺
- 美然ゆめろむ館
- どぶろく祭りの館
- 焰仁美術館
- 合掌造り民家園
- であいの館
- 民宿 十右エ門
- 民宿 志みづ
- 民宿 のだにや
- 民宿 きどや
- 民宿 ふるさと
- 民宿 久松
- 民宿 かんじゃ
- 民宿 幸エ門
- 民宿 与四郎

- 民宿 利兵衛
- 民宿 一茶
- 民宿 孫右エ門
- 民宿 源作
- 民宿 よきち
- 民宿 わだや
- 民宿 伊三郎
- 民宿 大田屋
- 城山館
- 白川郷の湯
- トヨタ白川郷自然学校
- 盛善
- 忠兵衛
- 基太の庄
- 白楽
- 喫茶 狩人
- 結の郷
- 飛驒路
- いさなみ
- しらおぎ
- ちとせ
- 山本屋
- そば処 乃むら
- 喫茶 落人
- 柗
- たなか屋
- 味処 ゆきんこ
- 与ぜ
- 白水園
- いろり
- けやき
- 善
- あらい食堂
- コーヒー屋 鄙
- ます園 文助
- 城山天守閣
- どっこらしょ
- そば脇本
- 合掌森崎
- 元気な野菜館
- 恵びす屋
- 心花洞
- おいしんぼ
- かたりべ
- 山峡の家
- 合掌庵
- ぜん助
- てづか
- おけさ
- 山楽堂
- 山里
- しゃくなげ
- 佐藤民芸品店
- 今藤商店
- こびき屋
- こびき屋柿の木店
- めめんこ
- 古太神
- 和七
- 道の駅白川郷
- 鳩谷郵便局

現在店舗に合掌基金募金箱の設置がなく、設置希望の方や、募金箱の破損などありましたら財団までご連絡ください。



# 世界遺産白川郷合掌集落保存基金にご理解とご協力を

合掌財団では世界遺産集落の景観保護を行うため、合掌造り家屋の修理に対する助成や合掌造りを取り巻く全ての建物が農村風景に影響を与えないような修景に対する助成等を中心に、集落に暮らす住民の生活により密着した事業展開を心がけております。

それらの経費を賄うには、合掌財団のわずかな基本財産の運用益だけでははるかに及ばないのが現状です。現在はそれを補う窮余の策として岐阜

県の助成を得て、白川村が緊縮財政の中から捻出しています。今後の社会情勢の変化に伴い、合掌財団に対して要請される事業がますます多様化していくものと予想されます。合掌財団がこのような課題にできるだけすみやかに、的確に対処していくためには基本財産をより充実させ、運用できる果実をもっともっと増やさなくてはなりません。どうか合掌財団の趣旨にご賛同くださり、皆様の暖かいご支援、ご協力をお願いします。

### 振替による場合

基金に対するご寄付お送り先及び資料請求先

- ・郵便振替口座 00810-6-51954
- ・飛驒農業協同組合白川支店(普) 9203800

### 現金書留による場合及び資料請求先

〒501-5627 岐阜県大野郡白川村荻町2495-3  
 (一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団  
 TEL(05769)6-3111 FAX(05769)6-3113  
 ☆インターネットでも受け付けています。  
<http://shirakawa-go.org/zaidan/>

の学習の機会となりました。

「飛驒の美味しいお米食味コンクール」に合わせて開催された「第20回米・食味分析鑑定コンクール・国際大会in飛驒」に白川郷学園5年生として出品を行いました。出品に際し、本県郡北方南小学校と田植え体験を行った水田の稲刈りにも挑戦し、景観保全だけではなく「おいしいお米づくり」

集落整備事業では茅の自給率向上施策として、茅刈機を試作し検証を行いました。手押しバインダーの改良から始まり、秋にはコンバインの改造機による刈取り実験を行い、問題点を抽出しました。来年度にはさらに機械を大型化し、実用化に向けて改良を行なっていくかと思っております。

本年度、毎年出品している「飛驒の美味しいお米食味コンクール」に合せて開催された「第20回米・食味分析鑑定コンクール・国際大会in飛驒」に白川郷学園5年生として出品を行いました。出品に際し、本県郡北方南小学校と田植え体験を行った水田の稲刈りにも挑戦し、景観保全だけではなく「おいしいお米づくり」

## 編集後記

平成30年度の自治保存会育成事業では兵庫県篠山市、京都府美山町、福井県小浜市で視察研修を行いました。世界遺産地区である荻町地区も年々少子高齢化が進み、近い将来空き家問題が深刻化していくことは目に見えています。昨年に引き続き、篠山市を中心に歴史的資源を活用した地域活性化を目指し、古民家等をホテルやレストラン等の商業施設に改修する事業を行っている一般社団法人NOTTEの取組や、地域NPOとの連携による運営について学びました。